

ショートステイ 平成30年度目標の評価

- ① ご利用者、ご家族からの要望、伝達等職員間で情報を共有し、統一したケアを行う事で信頼関係を築けるショートステイを目指していく。
- ・伝達ノートにしっかり目を通し口頭やホワイトボードにも張り紙を行い職員間での情報はしっかり出来ていたと思います。しかし退所時の忘れ物、特に薬の忘れ物が目立ち、ご家族から電話があるなど信頼に影響する事がありました。
 - ・報告書の活用としては、初めの頃より意見や要求など書いて下さるご家族が増えたと思います。しかし要望が書かれない家族もおられるので、今後担当者会議等でしっかり意見が聞けたらと思います。
- ② 毎日の生活の中でリハビリを兼ねた体操やレクリエーションの充実を図りながら、ADLの維持に努め、在宅生活が継続出来るようにしていきたい。
- ・初めの頃は、ショートでの生活を楽しんで頂こうと、レクやふれあい等を皆で出来ていましたが、後半の方は入退所や入浴で精一杯の日が多く、ほとんど出来ていませんでした。業務前のラジオ体操は毎日出来ていたので、ラジオ体操と水分の間の20分くらいの時間を利用し行えば良かったなと思います。訓練は日頃の関わりの場、例えば、トイレ時の立位、移動時の歩行等で出来ていたと思います。ロングの方が増えてきているので、帰られた時にADLの低下をされていない様に日頃の生活の中でのリハビリをしっかりしていきたいと思います。
- ③ 接遇のスキルを一人一人が磨き、笑顔あふれる現場が生まれ、ご利用者様に安心して来て頂ける様、また楽しく過ごして頂ける様なショートステイを目指していく。
- 職員一人ひとりが、ひと呼吸置いて言葉かけを行い、笑顔で接する事が出来たと思います。又顔の表情や仕草にも注意して接することが出来、現場の雰囲気もとても良かったと思います。しかし、時折忙しい時に、少しきつい言葉が出ていたので、職員1人ひとりが自覚して言葉の使い方を考えなければと反省しています。ご利用者同士の会話が増え、楽しく過ごされていたと思いますが、今年はショート自体の行事が少なく、お出かけやクッキングなど出来なかったのも、前もってしっかり計画を立て、その日は職員の人数を確保すべきだったと思います。今後は行事を1つでも増やし楽しかったよ、又来るねと言って頂ける様なショートを目指していきたいです。